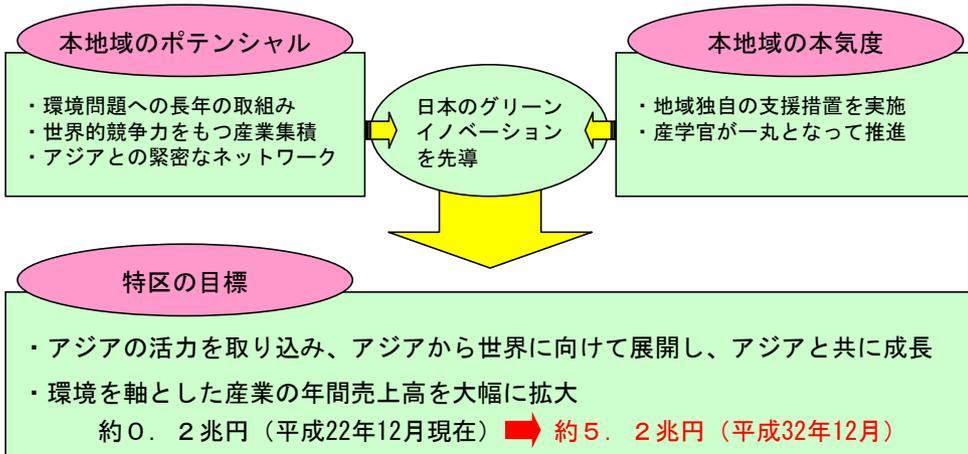


グリーンアジア国際戦略総合特区（国際戦略総合特区）

1 グリーンアジア国際戦略総合特区とは

グリーンアジア国際戦略総合特区とは、平成22年6月に閣議決定された新成長戦略における7つの戦略分野のうち、「グリーン・イノベーション」と「アジア経済戦略」を対象に、福岡県と北九州市、福岡市の3者が一体となり、アジアの活力を取り込み、環境を軸にアジアから世界に展開する産業拠点を構築し、アジアとともに成長することを目指す取組みです。

2 本地域のポテンシャル・本気度と特区の目標



3 4つの柱で特区構想を実現

本特区では、地域に蓄積された産業・技術・人材・ネットワークなどの強みを生かし、以下の4つの柱に沿って事業を展開します。

I 都市環境インフラのパッケージ化によるアジア展開

II 環境配慮型製品の開発・生産拠点の構築

III 資源リサイクル等に関する次世代拠点の形成

下支え

IV アジアとのシームレスなビジネス環境の実現

4 特区での主な取組み



5 推進体制

九州経済連合会、福岡経済同友会、福岡・北九州商工会議所などの地元経済界、九州大学、九州工業大学、北九州市立大学、早稲田大学などの大学・研究機関、9部会300社を超える民間企業等が地域協議会に参加し、地域一丸となって推進しています。

6 国際戦略総合特区指定

グリーンアジア国際戦略総合特区は、平成23年12月に国の総合特別区域（総合特区）制度の「国際戦略総合特区」に指定され、国から税制面、財政面などで総合的な支援を受けることができるほか、地域独自の支援策として、福岡県企業立地促進交付金の5%上乗せや不動産取得税の免除などがあります。

【福岡県ホームページ／福岡県企業立地情報サイト - 「福岡県企業立地のご案内2012」パンフレットより】

詳細はこちら⇒[グリーンアジア国際戦略総合特区](#)